



人形で心に癒やしを

人形作家として活躍する

大和田 敬子さん (蓮沼)

幻想的な世界観に 「女性の美」を表現

「女性はいつまでも美しくいたいという願う生き物。女性の美をテーマとした人形の創作を行っています」と話すのは、人形作家の大和田敬子さん。絵本の世界から出てきたような、幻想的な作品が特徴です。これまで、東京都美術館や銀座地球堂ギャラリー、赤坂ギャラリーなどに作品を出展してきた大和田さん。芸術の都、パリのギャラリーにも2度作品を出展した、輝かしい経歴を持ちます。

家族の後押しを受け 自身初の個展を開催

11月には、自身初となる個展を笠間市で開催します。「会場の手配をしてくれた夫、そして、どんなときも背中を押してくれる娘の励まし」が、開催のきっかけになりました」と家族への感謝を語ります。

「スマですべてが手作り。アクリル絵の具で顔を描き、人形に命を吹き込みます。20cmほどの小さな人形でも、1体制作するのに約3か月かかります。「人形は、見ている人に癒やしを与えてくれるもの。私自身、癒やされながら人形を制作しています」と大変な作業の中にも、楽しみを感じているそうです。

将来的には、市内に自身の展示館の創設を目指している大和田さん。人形の制作は、まだまだ続きます。



大和田敬子さん作品展

Princess doll Kei ~人形の世界~

日時：11月1日(日)~10日(木) [月曜休]

10:00~17:00 ※最終日は15:00まで

場所：笠間の家 (笠間市下市毛 79-9)